

# ラクロス沖縄オープン大会規約

2024年6月6日現在

## 第1章 総則

### 第1条 名称

本大会はラクロス沖縄オープン(以下「本大会」と称する。

## 第2章 運営活動

### 第2条 運営主体

本大会はNPO法人FOGOJAPAN(以下「FOGOJAPAN」)主催行事である。運営は沖縄オープン実行委員会(以下「実行委員会」)が行い、その運営責任の全てを担う。運営主体は実行委員会の構成員である。

本大会の実行委員長は別途称する。

## 第3章 参加資格・辞退

### 第3条 競技団体

次の各条件を満たした競技団体(以下「チーム」)に限り、実行委員会の運営管理する大会に参加する資格を有するものとする。

- ①実行委員会が指示した期日までに、本大会に参加申請していること。
- ②実行委員会が指示した期日までに、本大会に参加を予定している選手、及びコーチ・チームスタッフのメンバー登録表を提出していること。(第7条「登録手続」を参照)
- ③いかなる場合も実行委員長の最終決定事項に従えること。
- ④いかなる場合も実行委員会からの依頼事項遂行義務を果たせること。
- ⑤いかなる場合も本大会規約事項を遵守できること。

## 第4条 選手

次の各条件を全て満たした選手に限り、実行委員会の運営管理する本大会に参加する資格を有するものとする。

- ①今回出場する複数のチームに選手として登録していないこと。
- ②いかなる場合も実行委員長の最終決定事項に従えること。
- ③いかなる場合も実行委員会からの依頼事項遂行義務を果たせること。
- ④いかなる場合も本大会規約事項を遵守できること。

## 第5条 コーチ、チームスタッフ

次の各条件を全て満たしたコーチ、チームスタッフに限り、実行委員会の運営管理する本大会に参加する資格を有するものとする。

- ①いかなる場合も実行委員長の最終決定事項に従えること。
- ②いかなる場合も実行委員会からの依頼事項遂行義務を果たせること。
- ③いかなる場合も本大会規約事項を遵守できること。

## 第6条 大会の中止・参加チームの辞退

### 第1項

不測の事態によって、大会を中止にせざるを得ない場合、各チームがFOGOJAPANに支払った参加費は全額を返金する。大会中止の最終決定権限は実行委員長が有する。

### 第2項

参加チームの意志で本大会から辞退した場合の返金は行わない。但し、関連する政府・国家機関からスポーツに関する大会の中止命令等が発令された場合、参加チームがFOGOJAPANに支払った参加費を全額返金する。

### 第3項

FOGOJAPANは第1項・第2項で定める中止・辞退に伴う、参加チームが支払ったその他費用(ホテル・交通費等)のキャンセル料の責任は一切負わない。

## 第4章 登録・出場手続

### 第7条 登録手続

本大会に参加するためには、以下の登録を所定の期間内に完了していなければならない。

#### 第1項 参加申請(チーム)

実行委員会が指示した期日までに、本大会参加申請手続きを完了していること。

#### 第2項 メンバー登録(チーム)

実行委員会が指示した期日までに、メンバー登録表を提出していること。

提出されたメンバー登録表は、正式なメンバー登録表として返却され、出場手続きに必要な書類となる。

## 第8条 出場手続

### 第1項 出場手続

以下の手続を本大会当該試合開始前の実行委員会が指定した時までに完了した選手、コーチ、チームスタッフに限り、試合開始時からの出場を認める。

- ①本大会においてメンバー登録がされていること。ただし、メンバー登録表に関しては、実行委員会が指示した時までに提出していること。
- ②選手に関しては、審判により正規の装備が確認されていること。

### 第2項 登録外選手の特例措置

メンバー登録外選手または別のチームに登録している選手を出場させる場合、実行委員長と対戦する相手チームからの同意を得た場合のみ可能とする。

## 第9条 ベンチ登録

本大会に出場する選手、コーチ、チームスタッフはメンバー登録されていなければならない。選手、コーチ、チームスタッフの人数に制限はない。

## 第10条 出場の停止

### 第1項 男子

退場処分に処された選手、コーチ、チームスタッフは、次の1試合は出場停止となる。なお、その有効期限は本大会限りとする。

### 第2項 女子

レッドカードを出された選手、コーチ、チームスタッフは、次の1試合は出場停止となる。イエローレッドの場合、次の1試合の前半2クォーターは出場停止となる。なお、その有効期限は本大会限りとする。

## 第5章 リーグ形式

### 第11条 リーグ形式

#### 第1項 ブロック構成

男女ともにブロック制の総当たり戦を行う。

ブロック構成は別途定める。

## 第2項 順位決定戦

総当たり戦のあと、男女ともに第18条の定める順位で別途定めるトーナメントを行う。このトーナメントの優勝が本大会の優勝競技団体となる。

## 第6章 運営形式

### 第12条 運営形式

#### 第1項

本大会における試合は、以下の各関係者及び係員によって運営される。

- ①試合該当チーム
- ②各NGBの公認審判員
- ③ゲームオフィシャル

### 第13条 グランドメイク

グラウンドメイクはWorld Lacrosseのルール通りに実行委員会で行う。但し、グラウンドサイズはm×mとする。※図1参照

### 第14条 ゲームオフィシャル

ゲームオフィシャルは、実行委員会により構成される。

## 第7章 ルール

### 第15条 ルール

ルールは原則World Lacrosse 国際ルールを採用する。但し、物理的制約とやむを得ない場合など諸事情により同競技規則と異なる場合には、実行委員会が大会特別ルールを定める。

## 第8章 試合形式

### 第16条 試合形式

#### 第1項 試合時間

試合時間は以下の形式に基づいて行われる。

##### <男子>

#### ①15分流しのハーフ制

但し、第2クォーターの最後の2分は全ての笛で時計を止める。なお、第2クォーター終了時に得点数が同点の場合は引き分けとする。サドンビクトリーは実施しない。

#### ②15分流しのクォーター制

但し、第4クォーターの最後の2分は全ての笛で時計を止める。尚、第4クォーター終了時に得点数が同点の場合はサドンビクトリールールを適用する。

##### <女子>

#### ①15分流しのハーフ制

但し、第4クォーターの最後の2分は時計止めを行う。なお、第2クォーター終了時に得点数が同点の場合は引き分けとする。サドンビクトリーは実施しない。

#### ②15分流しのクォーター制

但し、第4クォーターの最後の2分は時計止めを行う。尚、第4クォーター終了時に得点数が同点の場合はサドンビクトリールールを適用する。

#### 第2項 サドンビクトリールール

サドンビクトリールールを以下の基準に基づいて行う。但し、このルールは特別なルールを採用する際に妨げになるものではない。

規定のプレー時間が終わってまだ同点の場合には、以下に示したサドンビクトリールールが適用される。

- ①キャプテンは3分間の休みの間にコイントスして勝った方が希望のサイドを選択する。

②プレーはグラウンド中央のフェイスオフ・ドロウによってスタートし、どちらかのチームが得点するまで15分間のピリオド(時間止めは行わない)を1回行う。

③サドンビクトリー中はチームが申請できるタイムアウトは無い。

<サドンビクトリーのピリオド終了時で決着がつかなかった場合>

①リーグ戦: 同点となる

②順位決定戦: チーム代表者によるコイントスを行い、勝ったチームをその試合の勝者とする。

### 第17条 試合の中断

#### 第1項

試合の「中断」及び「再開」の最終決定権限は、当該試合の実行委員長が有する。

#### 第2項

何らかの事情により続行が困難となり試合を中断した場合は、以下の基準によって再試合、または終了させる。

##### <男子・女子>

第1クォーターが終了していなければ0-0の同点として扱う。1クォーターが終了していれば試合成立条件とする。尚、試合が成立した場合、中断した時点の得点を試合結果とする。

### 第18条 順位決定法

ブロックにおける順位は、以下に記した勝ち点制度に従い予選リーグの全試合が終了した時点で、獲得した勝ち点の多いチームから上位の順位につく。

勝ち→3点 同点→1点 負け→0点

獲得した勝ち点が同点の場合の順位決定は、以下の順序に従い決定する。

ただし、決定方法は、下記1)から4)の順序で適用しなければならない。

- 1) 当該チーム間の勝敗(勝ち点)により決定する。
- 2) 当該チームの予選リーグ全試合における得失点差で決定する。
- 3) 当該チームの予選リーグ全試合における総得点の多いチームを上位とする。
- 4) 当該チームの代表者1名によるコイントスによって決定する。

### 第19条 試合の放棄

チーム代表者により、試合放棄の意思表示がなされた場合、当該チームは試合を放棄したものとみなし、スコアは1-0とする。

## 第9章 罰則

### 第20条 罰則

#### 第1項

以下の1)から3)いずれかの事項に該当することが実行委員会役員会において認められた本大会参加チーム・個人は、FOGOJAPAN実行委員長の決める処罰・処分を課される。

- 1) 大会運営を著しく妨げた場合
- 2) FOGOJAPAN及び本大会の品位を著しく傷つけた場合
- 3) 本規約の違反があった場合

第2項

処罰・処分は、実行委員長の名のもとに書面によって  
当該チームに渡される。

以上